

参 考 資 料

(1) 参考資料について

個別の教育支援計画作成にあたっては、子どもに関する情報を収集し、現在の様子から将来の生活を見通した上で、必要なこと、緊急性のあることから優先的に指導目標を設定し、指導することが必要になる。目標については、子どもの約1年程度の単位で達成可能な指導課題としての長期目標と、この目標達成のステップとして、数週間～数ヶ月単位で達成可能な課題としての短期目標が設定される。また、目標については、具体的で、観察可能な、評価可能な行動として設定し、記述することが望まれる。(例えば「答えが10までの足し算が10回中8回以上正解できる」)

ここでは、長期目標や短期目標を設定するに当たって活用しやすい参考資料についての紹介をする。

(2) 参考資料の紹介

ここで紹介する参考資料は、子どもの実態を様々な領域から全般的にチェックしたり、指導課題に対して細やかにチェックしたりすることを通して把握し、目標設定の参考にしていくことができるようになっている。また目標を達成するためには、どのような課題が達成できなければならないか、目標とする行動を具体的に、いくつかのより細やかな行動のつながり、あるいはまとまりとして捉えて、課題を分析していく必要がある。そのようにして、課題を分析し、指導プログラムを作成いくときの参考にしていくことができるようになっている。

ここでは、長期目標や短期目標を設定するに当たって活用しやすい14の参考資料を、「教科」「身辺処理」「その他」の領域に分けて紹介する。

① 「教科」

- ・学習レディネス指導シリーズ1 読みを育てる³⁾

著者 林邦男 松井茂昭 中川忠雄編著

出版社 コレール社

定価 ¥2940

対象 ひらがなを読むことが確立されていない段階

「読み」の学習能力の基礎となる、学習レディネスの指導についてまとめたものである。ひらがなが読めるようになるところまでの指導法が収録されている。各章の初めに掲げられている「こんなことできるかな」の項目から子どもの実態をチェックする。それぞれの章のプログラムを参考に、ひらがなの読みを獲得するために必要な課題を様々な角度から分析し、指導目標を設定いくことができる。

- ・学習レディネス指導シリーズ2 書きを育てる⁴⁾

著者 細村迪夫 松井茂昭 海苔由宏

出版社 コレール社

定価 ¥2940

対象 ひらがなを書くことが確立されていない段階

「書き」の学習能力の基礎となる、学習レディネスの指導についてまとめたものである。ひらがなが書けるようになるところまでの指導法が収録されている。各章の初めに掲げられている「こんなことできるかな」の項目から子どもの実態をチェックする。それぞれの章のプログラムを参考に、ひらがなの書きを獲得するために必要な課題を様々な角度から分析し、指導目標を設定いくことができる。

・学習レディネス指導シリーズ3 数を育てる¹⁴⁾

著者 山下皓三 松井茂昭 山本なつみ

出版社 コレール社

定価 ¥2940

対象 数量概念が確立されていない段階

「数」の学習能力の基礎となる、学習レディネスの指導についてまとめたものである。数の学習レディネスの向上から簡単な加法や減法の計算ができるようになるところまでの指導法が収録されている。各章の初めに掲げられている「こんなことできるかな」の項目から子どもの実態をチェックする。それぞれの章のプログラムを参考に、数の概念を向上するために必要な課題を様々な角度から分析し、指導目標を設定いくことができる。

・長所活用型指導で子どもが変わる²⁾

著者 藤田和宏 青山真二 熊谷恵子編著

出版社 図書文化

定価 ¥2625

対象 認知発達レベルが2才半から7才くらいの養護学校、養護学級在籍の子ども

継次処理と同時処理という2種類の認知処理様式をとりあげ、それぞれの認知処理様式を活用した指導展開例について紹介している。国語の基礎に関する指導（言葉、ひらがな・漢字の読み書き）、算数の基礎に関する指導（集合・弁別、数と計算、お金と時計）作業学習に関する指導を取り上げ、発達の段階別に継次処理、同時処理の認知処理様式を活かした指導方法を具体的に説明している。子どもの得意な認知スタイルに合わせた課題設定をしていく上で参考にできる。

・長所活用型指導で子どもが変わるPart 2⁸⁾

著者 藤田和宏監修 熊谷恵子 青山真二編著

出版社 図書文化

定価 ¥2310

対象 認知発達レベルが小学校1年生から3年生くらいで、通常の学級で学習につまずきを
示していたり、通級による指導を受けたりしている子ども

上記の資料と同じねらいで書かれている。本書では、取り扱う内容として国語、算数、
遊び、日常生活に関する指導が取り上げられている。子どもの得意な認知スタイルに合
わせた課題設定をしていく上で参考にできる。

- ・特殊教育諸学校小学部・中学部学習指導要領解説—養護学校（精神薄弱教育）編—（平成
3年）⁹⁾

著者 文部省（現文部科学省）

出版社 東洋館出版社

定価 ¥300

対象 養護学校、養護学級在籍の小学生、中学生

巻末の資料にまとめ、生活、国語、算数・数学、音楽、図画工作・美術、体育・保健、
社会、理科、職業・家庭の各教科の具体的な内容が、発達段階別に分けられて記載され
ている。子どもの実態と各教科の段階別に示されている内容とを照らし合わせ、必要な
ものを目標として設定することができるようになっている。

② 「身辺処理」

- ・段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導 1 食事指導編⁵⁾

著者 弘済学園編著

飯田正子責任編集

出版社 学習研究社

定価 ¥2625

対象 食事の自立が確立されていない段階

食生活に関する指導の方策をスプーンや箸の使い方から偏食や食事マナーまで紹介し
ている。「食事に関する状態把握のためのチェックリスト」を活用し、子どもの食事に関
する全般的な実態を把握する。そして、「食事に関する項目別難易度表」を参考に、設定
した課題が適当であるかを検討し、指導目標を設定することができる。

- ・段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導 2 着脱 洗面 入浴編⁶⁾

著者 弘済学園編著

飯田正子責任編集

出版社 学習研究社

定価 ¥2625

対象 衣服の着脱等の自立が確立されていない段階

衣服の着脱、洗面・歯磨き、入浴に関する指導の方策について紹介している。「着脱等に関する状態把握のためのチェックリスト」を活用し、子どもの着脱等に関する全般的な実態を把握する。そして、「着脱等に関する項目別難易度表」を参考に、設定した課題が適当であるかを検討し、指導目標を設定することができる。

・段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導 3 排泄指導編⁷⁾

著者 弘済学園編著

飯田正子責任編集

出版社 学習研究社

定価 ¥2625

対象 排泄の自立が確立されていない段階

排泄に関する指導の方策について紹介している。「排泄に関する状態把握のためのチェックリスト」を活用し、子どもの排泄に関する全般的な実態を把握する。そして、「排泄に関する項目別難易度表」を参考に、設定した課題が適当であるかを検討し、指導目標を設定することができる。

③ 「その他」

・カード式ポーター ジ乳幼児教育プログラム 0から6歳・発達チェックと指導ガイド¹²⁾

著者 S. ブルーマ M. シェアラー A. フローマン& J. ビリアード

監訳 山口薫

出版社 主婦の友社

定価 ¥20000

(カード式ポーター ジ乳幼児教育プログラム及びチェックリストについてはインターネットで、日本ポーター ジ協会のホームページから購入できる。)

対象 0才～6才

ポーター ジ乳幼児教育プログラムチェックリストを活用し、乳児期の刺激反応と社会性、言語、身辺自立、認知、運動の領域においてチェックされた項目についての指導の手立てが紹介されている。チェックリスト562項目の行動目標が281枚のカードになり、課題分析のためのヒントが分かりやすいイラスト入りで書かれてある。これらの手立てを参考に、指導目標を設定することができる。

・カード式 ポーター ジ乳幼児教育プログラムチェックリスト¹¹⁾

著者 S. ブルーマ M. シェアラー A. フローマン& J. ビリアード

監訳 山口薫

出版社 主婦の友社

定価 ￥720

対象 0才～6才

子どもにとって、今何を習得することができるかを見つけやすいように、乳児期の刺激反応と社会性、言語、身辺自立、認知、運動の6つの領域において、標準的な発達の指標を示したチェックリストである。すでにできていることや教えなくても十分できるような項目に○印をつけていき、○印のついていない最初の課題を目標設定していくうえで参考にしていくとよい。

・個別教育・援助プラン¹³⁾

著者 東京IEP研究会

発行者 財団法人安田生命社会事業団

定価 ￥1500

(市販されていないが、財団法人安田生命社会事業団で取り扱っている。インターネットで、安田生命社会事業団のホームページから購入できる)。

対象 4才以上

目標設定をする時に、子どもの実態を把握するための資料として「IEP初期アセスメントー領域別チェックリスト」が掲載されている。「IEP初期アセスメントー領域別チェックリスト」では、レジャー・遊び、コミュニケーション、社会性、日常生活能力、地域社会での生活能力、職業スキル、職業行動と領域を分類している。そして4才～9才、9才～14才、15才以上の三段階の年齢別に領域ごとに存在する様々な能力、技術の現状を把握することができるようになってきている。また、「指導目標サンプル一覧」では家庭、学校、地域のそれぞれ3つの環境の中から、身辺自立、家事、健康、教科、コミュニケーション、余暇活動、社会性、職業前スキル、行動管理、移動、情緒、その他の領域における、指導目標として用いられる具体的な項目のサンプルが掲げられている。

・新版S-M社会生活能力検査¹⁾

著者 旭学園教育研究所・日本適正研究所

監修 三木安正

出版社 日本文化科学社

定価 ￥6500 (20冊入り)

対象 乳幼児～中学生

子どもの様々な生活の力を知るための検査である。身辺処理、移動、コミュニケーション、作業、集団参加、自己統制の領域から130の質問項目を設定し、社会生活年齢や社会生活指数が導き出せるようになってきている。質問項目をチェックし、できる(ほとんどできる)項目に○を、できない(ほとんどできない)項目に×をつけていき、各領域の中で、最後に○をつけた項目か初めて×をつけた項目を目標設定していくうえで参考にし

ていくとよい。

・認知教育治療の実践マニュアルー自閉症のStage別発達課題¹⁰⁾

著者 太田昌孝 永井洋子編著

出版社 日本文化科学社

定価 ¥6121

対象 自閉症をはじめとする発達障害のある子ども

自閉症をはじめとする発達障害のある子どもに対して、発達を促すことにより本人に考える力と行動を調整する力、社会生活に適応するためのスキルを身につけさせていくことを目的としている。本書に掲載されているLDT-R（言語解読能力テスト改訂版）を活用し、子どもの実態を把握する。そして「太田のStage」に基づいてStage I からStage IVまでの認知発達段階に分け、評価する。それぞれの発達段階において、言語能力など表象能力を促すことを中心に、運動能力、コミュニケーション能力、社会性についての発達を促すための課題も具体的に提示されている。また、生活スキル、不適応行動・気になる行動などについての課題や対処の方法についても提示されている。これらの課題を参考に、指導目標を設定することができる。

（白樫光徳）

文 献

- 1) 旭出学園教育研究所・日本適正研究所(1980)「新版S－M社会生活能力検査」日本文化科学社
- 2) 藤田和宏 青山真二 熊谷恵子(1998)「長所活用型指導で子どもが変わる」図書文化
- 3) 林邦男 松井茂昭 中川忠雄(1993)「学習レディネス指導シリーズ1 読みを育てる」コレール社
- 4) 細村迪夫 松井茂昭 海苔由宏(1993)「学習レディネス指導シリーズ2 書きを育てる」コレール社
- 5) 弘济学園(1997)「段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導1 食事指導編」学習研究社
- 6) 弘济学園(1998)「段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導2 着脱 洗面 入浴編」学習研究社
- 7) 弘济学園(1998)「段階式 発達に遅れのある子どもの日常生活指導3 排泄指導編」学習研究社
- 8) 熊谷恵子 青山真二(2000)「長所活用型指導で子どもが変わるPart2」図書文化
- 9) 文部省(1991)特殊教育諸学校小学部・中学部学習指導要領解説ー養護学校(精神薄弱教育)編ー東洋館出版社

- 10)太田昌孝 永井洋子(1992)「認知教育治療の実践マニュアルー自閉症のStage別発達課題」
日本文化科学社
- 11)S. ブルーマ M. シェアラー A. フローマン& J. ビリアード(1983)「カード式 ポー
テージ乳幼児教育プログラムチェックリスト」主婦の友社
- 12)S. ブルーマ M. シェアラー A. フローマン& J. ビリアード(1983)「カード式ポー
テージ 乳幼児教育プログラム 0から6歳・発達チェックと指導ガイド」主婦の友社
- 13)東京 I E P 研究会(2000)「個別教育・援助プラン」財団法人安田生命社会事業団
- 14)山下皓三 松井茂昭 山本なつみ(1993)「学習レディネス指導シリーズ3 数を育てる」
コレール社